

急ぎ過ぎだよ 人類は。

ゆるやかなネットワークを目指す

ITより
逢いてエ

雑報 網文

いろいろ差えがあつたら面白い
いろんな人がいるのが楽しい

No. 606

2021年12月 **夜刊**

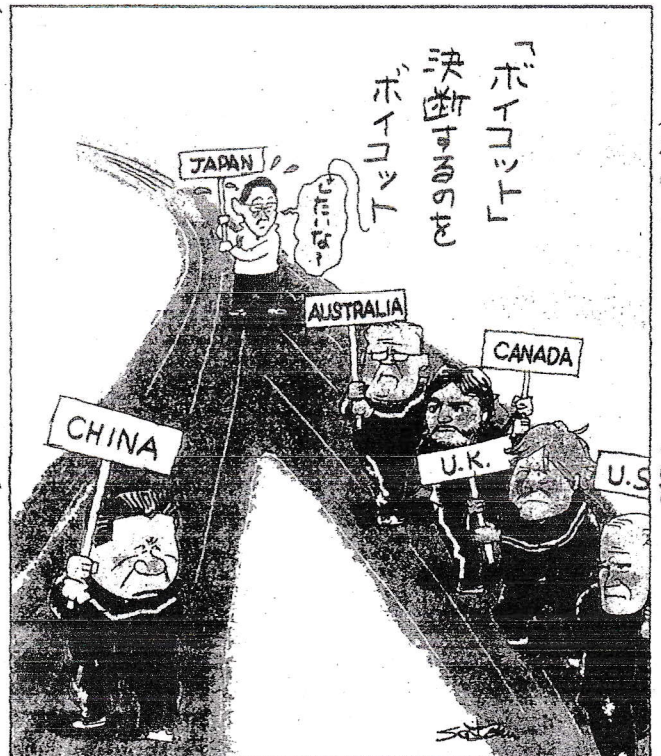
編集・発行 鈴木厚正

〒266-0005 千葉市緑区菅田町2-21-359

T&F 043-291-2917

ま・く・じ

- あの山の向こうに (45) 2
- 〇便利から 4
- 渋沢栄一、朝鮮で/丹札に 7
- 山仕事(12月、「今年最終」) 8
- 「大事なことはすべて昭和史に」 12
- 今同じ空気を。戦争は国滅ぼす 14
- 日本の最高裁 欧米との違い 16
- コロナ日誌 17
- ニュース 瞥見 19
- け・い・じ・ば・ん 26



佐藤正明さんの「一笑函断」東京新聞から、一六五〇円

年末、立てこもっているため
発行を急ぎました。
飯田さん、間に合いません
ごめん。

12月3日 現在の
会員数 **229名**

この見

どっちへ入場行進

「東京新聞」 佐藤 正明 2021.12.12

郵便局で 00100-2-20630
「雑報友の会」
へ 掛い込んで下さい。

題 字 政 佐村隆英和尚 (千葉県長柄町本光寺住職)
カ ッ ト : 泉ゆきをさん (にっぽん箱絵の会会長)

印刷機 リソグラフ RZ 330

※ この号の切手は、
海洋開発機構 50周年

山仕事(12月、大平「今年最終」)

出発前、寒冷前線が吹き荒れた。列車ダイヤが乱れるのを心配して、5:29の始発にのりつかりで準備した。しかし、けっこう風雨が強い。小やみになるのを待つ傘なしで駅に駆けこみ、結局6:01発、いつもの電車になった。

東京駅に着くといつもの7:48発熱海行きはなく、ホームも⑩から⑨に変わり、7:42発となっていた。上野方面から来る時は混んでいるが、この日は品川方面からの折り返しでガラ空き。のりこぞから、原田さんがのっているというメールが。山崎さんは残念とのこと。

東京を出ると次第に晴れ間が広がり、まっ白な富士山がくっきりと見えた。

天浜線敷地駅に着くと出迎えたのは正士さん一人。久米さんは叔父さんの葬儀で郡山(福島)へ。明日から若林さんと共に参加とのこと。

買物の前に深澤明男・富士代さんの「豊岡農場」へ。またしても「宮川早生」をコンテナに半分ほど頂いた。おかげでばくは、先月に続いて清涼飲料水を一度も口にしない。

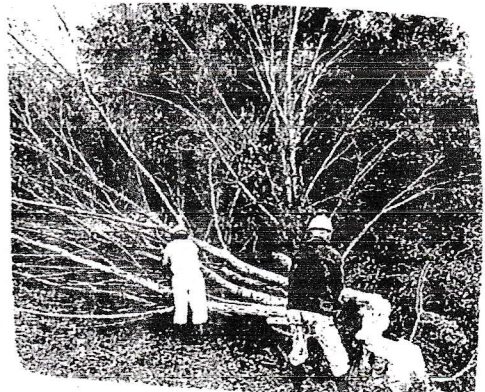
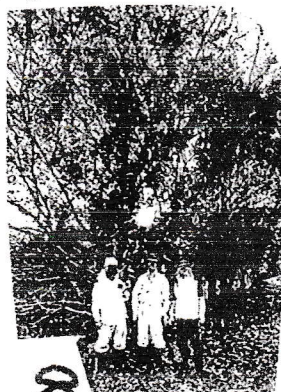
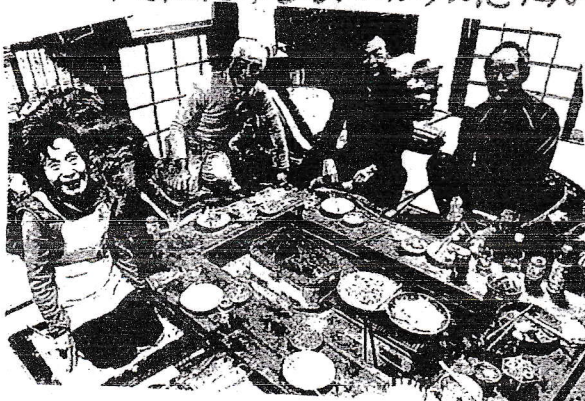
この日の作業は、家のそば「ヨダ」の斜面に生えているコナラの伐採。手始めにコナラの列の端に生えているエノキ(榎)を伐ることにした。いままで意識したことなかったが、けっこう大きい。木々の南側は全体としておへん40度の傾斜になっており、もし転げ落ちたら下の道路まで行ってしまう。そこで、斜面側に張り出した枝3本を切り落とし、次は正士さんが主幹を伐る。長径が60cm近くあり、チェーンソーの刃が届かないので時間がかかる。さいごは上部にロープをかけ、斜面の方に行かないよう風の方角を見定めながら皆で引いて、コナラの列に沿って倒した。



これで初日は終り。冬至が一番日の入りが早いと思っている人がおられるかもしれないが、じつは12月上旬が一番日が出、逆に、日の出が一番遅いのは1月上旬だ。だから、17時前に暗くなってしまふ。(カメラ:正士さん。黒い画面は印刷トラブルに。なるべく下の赤)

(夕食) 康江さん一人の調理で、刺身(しめ鯖、ブリ)、白菜のバク蒸し、春菊と海苔のサラダ、シラス干しと大根おろし、しうまい(伊藤光男さん)、もやしきんち、こんにやくと昆布の炒め煮、内田美智子さんの暮菰鍋(いつもは皆一箇ずつ、残りは正士さん)

だったが、この日は英ちゃんがつつ、山ちゃんが2つ、焼いたせいゆかに正士さんの手打ちそば。久米さんが居ないのが残念だが、英ちゃんの手で合唱。



12月2日(木)、快晴。久米さん、若林さんが参加。エノキの小枝を整理し、太い枝2本を残して、あまたのたてチエを出し合い。2本の枝を使って向きを変え、命面から落ちないようにして主幹を三つに切断、残る枝を始末する。



続いて7~8本あるコナラをてんぞに伐倒。コナラは枝葉をつけたまま放置する「葉枯ら」で自然に水分が抜けるのを待ち、1月の作業で1mの長さになり、近くの青山忠義さんにシイタケ栽培の原木として買ってもらう予定。

(昼) 肉うどん、レーズン入りサツマイモサラダ、

柿、ミカンにかきとうラスク →

午後は、隣家の丑雄さん茶園跡の草刈り。

2年ぶりの草刈りで、スキの長いのは3m近くまでのび、細くて軟い草は枯れて腐てしまい、どっちも刈りにくい。



久米さんのおみやげ



ほく



英ちゃん



山ちゃん

(夕食) タラとキノコと白菜のバター蒸し、叩き長芋の梅干し和え、久米さんの大豆の五目煮、ハヤトウリとシーチキン炒め、自然薯のとろろ入り王子焼、青山さんのシイタケ炭火焼に正士さんの手打そばと久米さんのだしわかしで。

途中から青山さんが参加。シイタケ栽培の話をする。もう年(78)で重い原木の扱いが重荷になってきたとのこと。青山さんがやめたら、大平地区のシイタケが消える。来年はそうした作業をお手伝いするので、ぜひ続けてほしいとお願いする。

ここで正士さんが見えない歯ビシをとり出した。このあとのお便りにあわせて、猫の手の活動に参加したいが子どもたちにとめられた袴田克臣(かつみ)さん(お母が



青山さん 若林さん

ほく 9

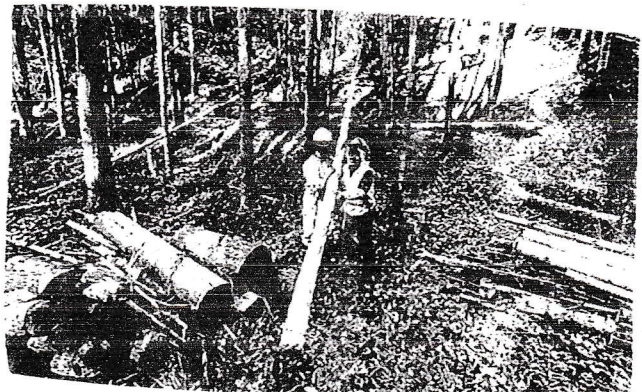
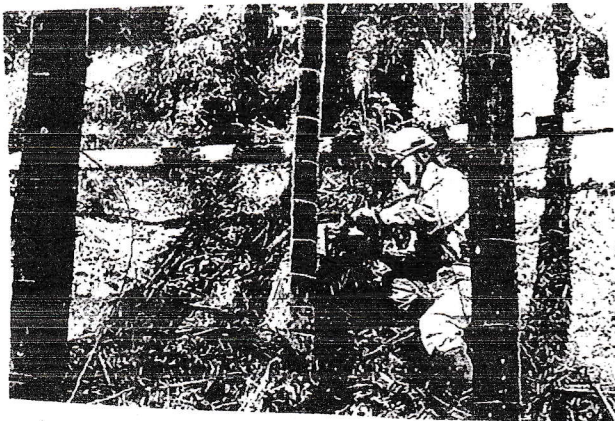


いただいたそうで、バッハ・ベートーベン・ブラームスとドイツの三大Bがセットになっている。皆ぞのみくらべたら、バッハの人氣がよかった。

12月3日(金)、快晴。天気はよいが、朝は冷えた。若林さんは所用で朝帰り。朝一番は竹伐りだ。天竜川近くにある「花送る庄」。昔は酒蔵で今は屋敷を生かしたレストラン。毎週水曜日は正士さんが頼まれてソバ打ちに行く。その主人の大箸さんの所望で、門松用の竹を用意する。

竹伐りの場所は、正士さんちの裏手、敷地にはさくだ林だ。川は浅いが、地下足袋では疲れない。脚立をのばして疲る。3日前の寒冷前線でスギが2本倒れている。コナラらしい木も1本。風ではない。大雨で増水した川が、岸の崖を洗い流し、倒れたのだ。これは次回の作業になるだろう。

門松なので、節の形のない青竹を3本送って伐採、運び出す。



続いて、久米さんと一緒に常森の茶園へ。茶樹のごみとりと周囲の草刈り。おしまいに東垂れの斜面の草を刈って終了。



(昼) カレーライス、サツマイモとリンゴのサラダ、久米さんの大豆五目煮。次回、1月24~26日、築地書館の土井社長も参加して。

※ 3月は18~20日と前号に記しましたが、16~18日に変更します。

◆ 12/1~3にかけて猫の手の活動ありがとうございました。

今回も沢山の仕事を片付けて頂き助かりました。

遅くなりましたが12月の山仕事の写真をお送りします。

12/1 から 12/2 にかけて隣家の丑雄さんのエノキとコナラの伐採・片付け、12/2 伐採・片付けのあと引き続いて丑雄さんの青山義夫さん宅前荒畑の草刈り、厚正さんには暗くなるまでやっていただきました。12/3 には私がお世話になっている花咲乃庄のオーナー依頼の門松の竹切をやっていただきました。少し時間の余裕がありましたのでさらに我が家の東ダレのツツジ園の草刈りと隣接している池谷さんの地続きの市道法面の草刈りもやっていただきました。おかげで気になっていた荒れ地がすっかり奇麗になりました。鈴木丑雄さんの奥さんからとてもよろこばれ、皆さんによろしくとのことでした。また花咲乃庄のオーナーからも門松の竹についてとても感謝されました。ありがとうございました。

今回も皆さんより差入やお礼を頂きました。

○森町の袴田克臣さん(女性)、猫の手の活動に参加したいとのことでしたが新型コロナの関係で子供たちに人混みにでるのを固く禁じられており参加できないとのこと、非常に残念がっておられました。お酒が好きとのことドイツのビールを頂きました。ベートーベン・バツハ・ブラームスという種類のビールです。みんなで試飲させていただきました。バツハが一番人気でした。

○内田美智子さんより、またまたおいしいお饅頭をお送りいただきました。毎回お送りいただき恐縮の極みです。今回は囲炉裏の炭火で焼いていただきました。焼き饅頭もいいですね。とてもおいしかったです。

○花咲乃庄の大箸オーナーから門松の竹のお礼として 10,000 円頂きました。お礼を頂くつもりはありませんでしたが、5,000 円お返しして、気持ちとして 5,000 円頂きました。猫の手基金に積み立て、備品や消耗品の購入に充てさせていただきました。

○青山忠義さんから生シイタケを沢山頂きました。ありがとうございました。

皆さんの猫の手へのお気遣いに感謝です。

それから、連絡事項です。

○私のソバ打ちの写真をお送りいただきありがとうございました。また雑報にも載せていただき恐縮しています。

○ソーチェーン 2 本の購入代金についてですが 1 本は刃が消耗して切れなくなったため、もう 1 本は今回の作業で壊れてしまいましたので、猫の手基金より支出させていただきます。2 本で 6,900 円です。よろしく願います。

○ポストカード (2 枚) 僅かばかりで恐縮ですがお使いください。

R 3 年 12 月 10 日

鈴木厚正様

||

鈴木正士

- ローカル線へのろう。
- 東北・福島へ行く。
- なるべく平日に。

掲示板

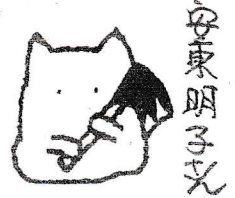
山中圭子さん
 (浜松市)
 (ザ・シニアジャンプ)
 朝の神奈川の子報で「
 9~15時に雨マークあるは」

加瀬アサさんと行く ◆ 三浦ハイク「小網代」 ◆

- 12月20日(月)、10:30 京急「三崎口」駅集・発。「みせまぐろきり」で。予備22日(水) ← 只今、佐藤(貞)、山崎、笠原夫妻、伊藤(康)、江幡和子さんとぼく。

◆ サイの神見学会 ◆

- 1月14~16日、「のんびり館」2泊。見学タメでも行っちゃいます。只今、伊藤(康)、久米、山崎、原田さんとぼく。



◆ 山仕事を楽しむ会 ◆

- ① 1月24~26日 ② 3月16~18日 (前号で18~20日としたのは、誤り)
- ② 2月18~21日 (西浦田楽の見学不可なら、日程を変更します) 岸屋千子さん、わかたさ教 之下さん